

【EU】欧州委員会、新型コロナ対策で遠隔教育のデジタルソリューションの活用を支援

欧州委員会は、新型コロナウイルス感染の収束にテレワーク及び遠隔教育が有効であるとの認識から、これらのデジタルソリューションに関する教師、企業関係者、個人のスキル向上のために、「EU コードウィーク (EU Code Week)」と「デジタル技能と職のための連合 (Digital Skills and Job Coalition)」の二つの既存イニシアティブを支援することを明らかにした。

「EU コードウィーク」は、市民、生徒、企業就労者によるコーディングの知識やスキルの習得を支援する草の根レベルのイニシアティブである。新型コロナウイルスとの関連では、社会的に距離を保つためのベストプラクティスをウェブセミナー形式で情報を提供している。そのほか、遠隔クラスの設定に関する教師への助言のほか、コーディング、ロボティクスの授業内容の共有を図っている。

「デジタル技能と職のための連合」は、EU 域内における職業訓練や職能習得への支援の一環でデジタル技能の向上を図るためのイニシアティブであり、欧州各国の新型コロナウイルス対策に関連したベストプラクティスを紹介し、域内で情報共有の場を提供している。

教育分野の取組みでは、生徒向けの事例として、クロアチアの科学教育省が提供するビデオ教室「School of life」、デンマークのデジタル学習ツール「EdTech Donor」、マルタの eSkills 財団による無料オンライン教材の提供などの取組みが紹介されている。教師用には、アイルランドの家庭学習用プラットフォーム「Tech Week」、オランダ教育省が提供するオンライン学習プラットフォーム「Distance learning」、スウェーデンの教師とデジタル技術者をつなぐ無料プラットフォーム「School at home」の事例が紹介されている。